

令和8年第1回榛東村議会定例会 一般質問通告一覧表

受付順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁を 求める者
1	宮崎法文議員	1 二元代表制とは	(1) 二元代表制での執行の権限は具体的に説明して下さい	副村長
		2 二元代表制を村民の皆様に周知徹底する手だては	(1) 二元代表制でもっとも有効な手だては広報しんとうですか（執行の手だて） (2) 広報しんとうで村長の皆さんへ一番訴えたい事項は	
		3 スクールロイヤールの現状は	(1) 相談の有った件数は (2) 具体的にどのような案件がありましたか	担当所属長
		4 ハラスメントの調査は（アンケートの結果）	(1) ハラスメント調査の進捗状況は (2) ハラスメントの案件、相談はありましたか	副村長
2	波多野佐和子議員	1 上水道管布設替えについて	(1) 令和8年度、国の補助金等を使って上水道管の布設替え工事が始まるが、その計画の概要や工事を担う事業者の選定方法や契約方式についてどのような考え方で取り組むのか (2) 地元水道業者が適正な利益を確保し、将来にわたって事業を継続していけるよう、事業の進め方や体制づくりを検討していくのか (3) 物価高騰の影響や事業者の経営体力といった課題について『国の制度だから』『業界全体の問題だから』という整理だけでは地元の水道事業者を守れない。地元水道事業者が存続し続けること自体が本村の安全保障であると考えている。本村の水道事業を将来にわたって維持していく責任主体として、どのような判断軸を持って事業に向き合っていくのか、認識を改めて問う。	村長 担当所属長

		2 空き家対策について	<p>(1) 現在村が把握している空き家の状況と防災・防犯・景観、または地域コミュニティへの影響についてどのような課題認識を持っているか</p> <p>(2) 空き家バンクと空き家再生バンクの連携で住み続けられるまちづくりにつなげる考えとその可能性や課題は</p> <p>(3) 副業型地域活性化起業人制度の導入等、外部人材や民間団体との連携についてどのような可能性、または課題があると考えるか</p> <p>(4) 移住コーディネーターによる相談窓口の設置の可能性と課題は</p> <p>(5) 今後、空き家対策は村としてどのような方向性を描いているのか</p>	担当所属長
		3 里山整備について	<p>(1) 不整備な状態の私有林が多くみられるが、現状認識と課題は</p> <p>(2) 防災・安全対策の観点から、私有林の整備をどのように位置づけているか</p>	
		4 音楽のちから	<p>(1) 合唱をはじめとする音楽活動が、子どもたちの情操教育や人間形成に与える効果について村教育委員会としての認識は</p> <p>(2) 音楽活動を部活動や課外活動として導入することについて教育現場の負担や指導体制も含め、村としてどのような考えか</p> <p>(3) 少年少女合唱団のような文化活動の立ち上げの可能性、また休部となっている吹奏楽部の今後の見通しは</p> <p>(4) みんなで踊れる盆踊り（榛東音頭）で音楽と踊りを通じた地域の一体感づくりにつなげていく考えは（例えば、エンジョイしんとう村づくり祭など）</p>	担当所属長
3	清水健	1 災害への備えについて	<p>(1) インスタントハウスについて</p> <p>(2) 地震10秒診断について</p> <p>(3) キッチンカー派遣について</p>	担当所属長

一 議 員		(4) こどものケアについて (5) 避難所におけるマイナンバー活用について		
	2 養育費確保事業について	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長	
	3 子供を守るA I アプリについて	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長	
	4 ヤングケアラーについて	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長	
4	須 田 仁 美 議 員	1 公共施設整備の進め方と、計画性・安全性の確保について	(1) 新たな公共施設の整備にあたっては、旧施設の解体や跡地利用も含めた長期的な見通しを持つことが、財政や安全管理の面からも重要と考えるが、今後、こうした点を総合的に含めて計画を進めていく考えはあるか (2) しんとぴあ整備事業において、供用開始までを見据えた全体工程表（マスタースケジュール）を作成し、その妥当性や結果について事後的な検証を行っているのか。行っていない場合には、今後の公共施設整備に向けて検証を行う考えがあるか	担当所属長
		2 学校給食における飲み物の選択と配慮について	(1) 学校給食で提供する牛乳の代替として現在行われている個別対応の状況を踏まえ、今後、希望する家庭の実態を把握するため、保護者アンケート等により希望を把握する考えはあるか (2) 学校給食における牛乳の提供について、体質や家庭の事情など多様な背景を踏まえ、希望に応じた提供方法とするなど、選択制とする考えはあるか	担当所属長
		3 発達特性に応じた支援と、学校・家庭・福祉の連携強化について	(1) 支援を要する子どもへの学びの保障について ① 発達障害や学習上の困難、感覚過敏や	担当所属長

	<p>H S P 的傾向を含む特性をもつ子どもに対し、支援学級および通常学級において、合理的配慮や学びの支援をどのように行っているか</p> <p>※ユニパス（不登校）への配慮や、支援学級における時間割・授業設計等を含めて</p> <p>② こうした感覚の特性やH S P 的傾向への理解を深めるため、教職員研修や校内での情報共有はどのように行っているか</p> <p>③ 日本の学校制度では、学習の到達度にかかわらず進級していく仕組みである中で、学習の理解が追いつかないまま進級する子どもに対し、学校としてどのような支援が重要であると考えているか</p> <p>(2) 教育・福祉・家庭の連携と支援体制について</p> <p>① 学校、家庭、福祉、相談支援機関（放課後等デイサービス、訪問支援事業等）、県の発達障害支援センターとの連携として横断的に情報共有や協議を行う仕組みがあるか、あるのならその際、調整の中心となる担当者がいて個別計画を作成しているのか</p> <p>② 発達特性や感覚の特性が多様化する中で、一人ひとりに合った支援を充実させていくため、どのような合理的配慮の取組を進めていく考えか</p> <p>③ 教員や支援員を含め、子どもに日常的に関わる人材について、専門性を高めるための研修体制の充実をどのように図っていくか</p>	
<p>4 情報セキュリティ対策における県との連携と村の対応体制について</p>	<p>(1) 県が運用する情報セキュリティクラウドやC S I R T体制と連携する中で、村として担う役割や責任をどのように整理しているか。また、職員研修や訓練の実施状況はどうか</p> <p>(2) 情報セキュリティ事故発生時の初動対応や判断、公表・説明の考え方について、</p>	<p>担当所属長</p>

		<p>漏水箇所の調査方法は村として確立しているか</p> <p>(2) 今後管路更新や漏水検知システム導入に際し、中部地区など広域との連携を踏まえた対策があればお聞かせください</p> <p>(3) 公共事業的にインフラ整備について村民が必要とする村内水道事業者の確保は保たれていますか。災害時対応も含めて</p> <p>(4) 中・長期的水道の経営・維持管理ビジョンをお聞かせください</p>	
6	柳岡利精議員	<p>1 令和11年（2029年）第83回国民スポーツ大会（国スポ）開催について</p> <p>(1) 令和11年（2029年）に開催される国民スポーツ大会では、榛東村では「ライフル射撃」および、デモンストレーションスポーツでは「スマイルボーリング」を開催予定であるが、榛東村で開催する意義は何か</p> <p>(2) 2029年の本大会および2028年のリハーサル大会の開催に向けた、本村の全体スケジュール（主なマイルストーン）と、実行委員会の設置時期、専門・専任職員体制（人数・配置）はどうか</p> <p>(3) 大会を成功させるために村が行うべき事業内容や施設改修工事の完工時期（リミット）と財源の確保の方針はどうか</p> <p>(4) 大会運営に欠かせない人材およびボランティア確保は、どのように進めていくのか</p> <p>(5) 一過性のイベントでなく、持続的な地域の活性化（スポーツツーリズム）の視点を踏まえた戦略をどのように考えているか</p> <p>(6) 小中学生の教育へどのように波及させる方針はどうか</p>	<p>村長 教育長 担当所属長</p>
		<p>2 ハラスメント調査状況について</p> <p>(1) 前回の一般質問で示された、職員アンケート調査における「パワーハラスメント34%」「カスタマーハラスメント46%」という村の深刻な結果に対し、村長の見解はどうか</p>	<p>村長 担当所属長</p>

		<p>(2) 外部相談窓口（JAICO等）への通報事案に対し、村の「榛東村職員のハラスメントの防止等に関する規程」に基づく「ハラスメント処理委員会」の設置・開催状況およびこれまでの対応経過はどうか</p> <p>(3) 本村における「セカンドハラスメント」の定義とは</p>	
	3 住民サービスについて	<p>(1) 前回の一般質問後、しんとぴあの運用に対して、どのような住民の声が何件寄せられ、対応できたもの／できなかったものは何か</p> <p>(2) 住民の声および対応履歴をどのようにデータベース化し、公開しているのか</p>	担当所属長
	4 新県道(雛子・北野線)の交通安全について	<p>(1) 新県道における交通安全に係る環境整備（信号機・横断歩道・通学路など）に対し、住民の不安を解消するため、村として県および警察とどのように進めていくのか</p>	担当所属長
7	中島由美子議員	<p>1 村民のための公共工事に必要な村長の公正性と信頼の回復について</p> <p>(1) 村長の政治団体の令和6年分収支報告書の所在地と電話番号が、令和7年度第3区コミュニティ共用施設改修工事の請負会社と同じであり、団体の会計責任者と施工会社の法人登記上の監査役が同名である。これらなど村工事の公正性や透明性はどうやって確保できるのか</p> <p>(2) 1)の工事の入札において、榛東村最低制限価格制度実施要領に基づき、最低制限価格を下回った業者が失格とされた。この取扱いは、当該業者にとって不利益な取扱いに該当すると考えられるが、当該実施要領において、このような不利益な取扱いを行うことができる法的根拠および制度上の考え方について、村としてどのように整理し、また、不利益な取扱いを伴う入札制度である以上、あらかじめ設定された最低制限価格を公表</p>	村長

しないまま失格とすることは、当該業者のみならず村民に対しても、行政運営および契約手続における公正性・透明性が十分に確保されているとは言えないのではないかと村及び村長の見解を問う

(3) 1) の工事において、元請業者の下請として施工している会社の中に、本工事の入札に参加した業者が含まれ、そのうち一社は、入札時に最低制限価格制度により「当該価格では適正な履行が困難」と判断された業者である。最低制限価格制度は、過度な低価格競争を防止し、適正な施工品質を確保することを目的とする制度であるが、同一工事において当該業者が下請として施工に参加している状況について、村として制度上どのように説明するのか。本質問は当該業者の施工能力を問うものではなく、制度運用上の整合性および行政の公正性・透明性の観点からの問題提起である。あわせて、地域建設業の均衡ある発展のためにも、入札に参加した業者が下請として施工に関与するのであれば、元請として参加できるような入札制度への見直しについて、村及び村長の見解を問う

(4) (事実関係) 1) の工事の落札業者の代表者と村長との親族関係について村としてどのように把握しているのか

(5) (回避措置) 当該関係性を踏まえ、村長は本件入札及び契約に関し、利益相反を回避するために具体的どのような措置を講じたのか

(6) (制度矛盾) 最低制限価格未満で失格と判断した業者が下請けとして施工に関与している事実について、村として最低制限価格制度としての整合性をどのように説明するのか

(7) (再発防止) 今後、首長の親族が関係する事業者が入札に参加する場合の明確なルール整備を行う考えはあるのか。こ

	<p>の説明が村民の皆さまにとって行政の中立性・公正性・透明性を確保できる手段として</p>	
<p>2 しんとぴあの瑕疵担保工事について</p>	<p>(1) 令和8年1月24日25日の村議報告「村議としんとぴあを語る会」を開催したところ、住民の皆様からしんとぴあ工事の瑕疵担保責任などを問う内容が多々ありました。その点について</p>	<p>村長</p>
<p>3 村長の行政運営と政治活動の公正性と透明性について</p>	<p>(1) さきごろの議会での発言について、議会だよりの掲載について村長において検討がされた。村では各種の村民サービスについてyoutube動画の作成を予算化し実施している。例えば給食だが、隣の吉岡町では議会の村政議論をリアルタイムで配信している。榛東村も二元代表制であるので、村として、村長として、議会の議論より給食センターのyoutube配信の方が村民にお伝えすべき情報と考え予算化を進めないのか、すでに村では予算化、実施しyoutubeに掲載されている、少額で議会の議論が配信できるということは理解されているのは。なぜそういう予算化の提案を議会にしないのですか</p> <p>(2) 最新号の広報しんとうのコラム欄が、政治利用に近いのではと村民から揶揄されていますが村長の見解を聞きます</p> <p>(3) 議会事務局職員給与費は議会費で手当てされていると思うが、その費目の中に監査委員事務局兼務職員としての業務分の給与分は含まれているのか。含まれているとしたらその予算・配分は適正と言えないのでは</p>	<p>村長</p>